

育英資金貸与申請書・育英資金貸与申請願・申請書類チェックシート
記入例及び様式

育英資金貸与申請書

- 黒の太枠内を黒又は青の消えないインクのボールペンで記入してください。
消えるインクのペン不能使用。
- 誤りは、修正液を使わず二重線を引き訂正してください（訂正印不要）。
- 記入すべきところは全て記入してください。

1 申請者の氏名、住所、連絡先等		学 校 1 宮崎県立育英高校（普通科）	申 請 日 令和〇年〇月〇日
ふりがな 氏 名 (自署)	いくえい さくら 育英 桜	電話番号	— —
住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇〇丁目〇番地〇〇アパート〇〇〇号	携帯電話	— —
2 親権者全員の氏名 ※ 一般に父母それぞれが親権者となるが、事情により親権者となる者が異なる場合がある。なお、親権者①は必ず記入してください。			
ふりがな 氏 名 (自署)	親権者① いくえい そだつ 育英 育	親権者② いくえい はな 育英 英	
住 所	(申請者の□ 父 □ 母 □ その他 ()) 〒000-0000 〇〇市〇〇〇丁目〇番地〇〇アパート〇〇〇号	(申請者の□ 父 □ 母 □ その他 ()) — 同左	
電話番号	— —	— —	
携帯電話番号	000-0000-0000	000-0000-0000	
3 申請内容欄		採用の種類 (□ 予約採用 □ 在学採用 □ 緊急採用)	
希望する育英資金の種類		☑ 一般育英資金 □ 入学金育英資金	
希望貸与月額 (裏面 6 参照)		23,000 円 (□ 自宅通学 □ 自宅外通学)	
貸与期間		3年間 (令和〇年4月から令和〇年3月まで)	
家族の状況		宮崎県教育委員会確認欄	
氏名 (続柄)	所 属 (勤務先・学校名等)	同居・別居の別	就学者の場合選択
① 育英 桜 (本人)	育英高校普通科1年	□ 同居 □ 別居	☑ 国公立 □ 私立
② 育英 育 (父)	無職	☑ 同居 □ 別居	□ 国公立 □ 私立
③ 育英 英 (母)	〇〇〇食堂	☑ 同居 □ 別居	□ 国公立 □ 私立
④ 育英 向 (兄)	〇〇株式会社	☑ 同居 □ 別居	□ 国公立 □ 私立
⑤ 育英 碧 (兄)	〇〇株式会社	☑ 同居 □ 別居	□ 国公立 □ 私立
⑥ 育英 心 (妹)	〇市立〇〇中2年	☑ 同居 □ 別居	☑ 国公立 □ 私立
⑦ 育英 学 (弟)	未就学児	□ 同居 □ 別居	□ 国公立 □ 私立
特記事項 (該当するものにチェック () を入れる)		小計	
☑ 就学者・未就学児がいる (就学者・未就学児の数 3 人)			
□ ひとり親家庭である			
□ 主たる生計維持者が別居している			
□ 長期に療養を必要とする人がある			
□ 障がいのある家族がいる (障がいのある家族 〇 人)			
□ 火災・風水害又は盗難等の被害を受けた			
□ その他事情 母が経営する食堂が物価高騰の影響を受け大変厳しい状況にある。			
合計		合計	

4 **認欄**

- 育英資金の制度内容と、裏面の重要事項について確認しました。
- ☒ 借りるのには申請者（生徒）本人であり、返すのも申請者本人であることを、十分に理解しました。
- ☒ 借りるのには申請者本人であることを十分に理解し、同等の債務を負うことを理解しました。
- ☒ 借りる金 申請にあたり、制度内容や貸与申請書裏面の記載事項を確認し、確認欄に✓を
- ☒ 借りる目 入れています。
- ☒ 借りる申請者本人が、借りた後、何歳までお金を返し続けなければならないが、理解しました。
- ☒ 育英資金以外の修学支援制度について調べた上で、返還が必要な当制度を申請をしました。

記入要領

1	学校名	在学している学校（学科）名を記入してください。
	申請日	学校への提出日を記入してください。
2	申請者の氏名、住所、連絡先等	申請者本人が、枠内を自分で記入（自署）してください。 ふりがなも忘れず記入してください。 ※ 住所は、現在の住所（寮や下宿含む）を記入してください。
	親権者全員の氏名、住所、連絡先等	親権者本人が、各欄（父母の場合は両名が親権者①、②それぞれの欄、父母いずれか1名の場合は親権者①の欄のみ）に自分で記入（自署）してください。 ふりがなも忘れず記入してください。 ※ 申請者の主たる生計維持者が宮崎県在住である必要があります。 ※ 住所は、申請者住所と同じ場合は「同上」でかまいません。
3	希望する育英資金の種類	一般育英資金とへき地育英資金のうち希望するものの口にチェック（✓）を入れてください。 ※ へき地育英資金は、申請者の主たる生計維持者がへき地手当等に関する規則で定めるへき地在住である必要があります。
	希望貸与月額	希望する貸与月額（2ページの一覧から選択）を記入し、自宅通学・自宅外通学のうち該当するものの口にチェック（✓）を入れてください。
	貸与期間	在学を卒業予定（貸与終了）の年月を記入してください。 例：令和7年4月入学で修学期間3年の場合、令和10年3月まで 令和7年4月入学で修学期間5年の場合、令和12年3月まで
4	家族の状況	同一生計の家族の氏名、続柄、所属（就学者の場合は在学学校の正式名称）を記入し、同居・別居の別、就学者の学校種別について該当するものの口に必ずチェック（✓）を入れてください。 ※ 所属は申請年度におけるものを記入してください。申請書を3月に作成する場合でも、4月以降の所属を記入してください。 ※ 同居・別居の別は、申請者の主たる生計維持者を基準としてください。
	特記事項	該当する口にチェック（✓）を入れてください。 なお、特記事項によっては、特別控除額の算定のために添付資料が必要な場合があります（3ページ参照）。 その他の事情がある場合は〔 〕内に記入してください。
5	確認欄	育英資金の利用には、育英資金制度を理解していただく必要があります。 当募集要項及び貸与申請書裏面を申請者と親権者がよく読んで理解し、確認し、それぞれの口にチェック（✓）を入れてください。

提出前に記入漏れ・記入誤りがないか申請者と親権者で必ず確認してください。

記入例

「育英資金貸与申請願」(本人記入用)

- 全ての項目を消えないインクのボールペンで記入してください。
消えるインクのペンや鉛筆は使用できません。
- 誤りは修正液は使わず、二重線を引き訂正してください(訂正印不要)。

申請者(生徒)が、全ての欄を自筆で記入してください。

学校名 県立宮崎育英高等学校(学年: 1 年)

氏名 宮崎 桜

宮崎県育英資金の申請にあたり、あなたが考えていることを記入してください。

- 1 あなたの勉学意欲について、自己評価してください(該当するものに○を付けてください)。

① 高い 2 やや高い 3 やや低い 4 低い

上記自己評価について説明を記入してください。

- ※ 苦手な教科に特に意欲的に取り組んだ結果、得意教科となった事例や、
現在特に力を入れて取り組んでいる教科のことなどを踏まえて、評価の説明を記入

(例) 英語に苦手意識があったが、受験勉強で集中して勉強してから授業が楽しくなったため。

(例) 得意教科である数学に特に力を入れて取り組んでいるため。

- 2 学校生活(学習面、部活動、その他の活動)について、どのような目標や計画を持っていますか。

- ※ 高校等で学びたいこと、特に力を入れていきたいこと、取りたい資格、部活動での目標
地域で参加している活動 など

(例) グローバルな人材として国際社会で活動するために、世界史を学んで視野を広げたい。

(例) バドミントン部に所属している。今年は念願のブロック大会優勝を目指して頑張りたい。

(例) 好きな教科の知識を深めたい。特に物理の分野について興味があるので、もっと専門的に学びたい。

- 3 あなたの将来について、現時点で希望している進路や目標を記入してください。

- ※ 卒業後に進みたい進路、将来やりたいこと、職業

(例) 将来は管理栄養士になりたいので、大学が専門学校に進学したい。

(例) 本が大好きなので、何らかの形で書籍に関係する仕事がしたいと考えている。

- 4 現時点であなたが考えている育英資金の返還計画を記入してください。

- ※ 返還方法は募集要項5頁参照

(例) 大学進学予定のため、在学中の4年間は毎年返還猶予申請をし、就職後の令和△年4月から返還する。

(例) ひなた創生のための奨学金返還支援事業の対象となっている県内企業に就職を希望している。返還支援事業
を利用しながら卒業後の10月から毎月返還していこうと考えている。

(返還期間の予定) 令和○年10月から令和○年9月まで
(返還猶予の予定) ☐ あり ☒ なし

卒業後進学しても返還は始まります。
卒業年の10月以降貸与期間の4倍の以内の期間を記入してください。
あくまで予定ですので、返還猶予制度の利用等により返還期間が変更となってもかまいません。

育英資金貸与申請書

宮崎県教育委員会 殿

宮崎県育英資金貸与条例及び宮崎県育英資金貸与条例施行規則第3条の規定により、育英資金の貸与を受けたいので、下記のとおり申請します。

		学 校 名	() () 科)			
1 申請者の氏名、住所、連絡先等		申 請 日	令 和 7 年 月 日			
ふりがな 氏 名 (自署)			電 話 番 号	— —		
住 所	〒 —		携 帯 電 話 番 号	— —		
2 親権者全員の氏名、住所、連絡先等						
※ 一般に父母それぞれに親権があり、未成年の場合、同意確認のため両名の署名が必要となります。 事情により親権者が一人又は未成年後見人の場合は、親権者①の署名欄に記入してください。 なお、親権者①は、貸与が決定した場合に、原則、第一連帯保証人となります。						
		親権者①		親権者②		
ふりがな 氏 名 (自署)	(申請者の ☐ 父 ☐ 母 ☐ その他 ())		(申請者の ☐ 父 ☐ 母 ☐ その他 ())			
住 所	〒 —		〒 —			
電 話 番 号	— —		— —			
携 帯 電 話 番 号	— —		— —			
3 申請内容欄		採用の種類 (☒ 予約採用 ☒ 在学採用 ☒ 緊急採用)				
希望する育英資金の種類		☐ 一般育英資金 ☐ へき地育英資金				
希望貸与月額 (裏面6参照)		, 円 (☐ 自宅通学 ☐ 自宅外通学)				
貸与期間		年間 (令 和 7 年 4 月 ~ 令 和 年 3 月)				
家族の状況				宮崎県教育委員会確認欄		
氏名 (続柄)		所 属 (勤務先・学校名等)	同居・別居 の 別	就 学 者 の 場 合 選 択	所得金額 特別控除額	
① (本人)			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
② ()			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
③ ()			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
④ ()			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
⑤ ()			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
⑥ ()			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
⑦ ()			☐ 同居 ☐ 別居	☐ 国公立 ☐ 私立		
					小計	
特記事項 該当するものにチェック (✓)を入れる	☐ 就学者・未就学児がいる (就学者・未就学児の数 人)					
	☐ ひとり親家庭である					
	☐ 主たる生計維持者が別居している					
	☐ 長期に療養を必要とする人がある					
	☐ 障がいのある家族がいる (障がいのある家族 人)					
	☐ 火災・風水害又は盗難等の被害を受けた					
☐ その他事情 ☐				合計	合計	
世帯人数 (人) 収入基準額 (万円) 認定所得金額 (所得金額-特別控除額) () 万円						
4 確認欄						
☐ 育英資金の制度内容と、裏面の重要事項について確認しました。						
☐ 借りるのは申請者 (生徒) 本人であり、返すのも申請者本人であることを、十分に理解しました。						
☐ 借りるのは申請者であるが、連帯保証人も同等の債務を負うことを理解しました。						
☐ 借りる金額、返す金額について確認をし、話し合いをしました。						
☐ 借りる目的は、申請者の修学 (学資) のためであることを理解し、必要性について認識の共有をしました。						
☐ 借りる申請者本人が、借りた後、何歳までお金を返し続けなければならないか、理解しました。						
☐ 育英資金以外の修学支援制度について調べた上で、返還が必要な当制度を申請をしました。						

注意事項

- (1) 太枠内を消えないインクのペンで記入してください。また、□は該当するものを選択し、✓を入れてください。
(2) 申請者と親権者が、それぞれ自筆で記入してください。

5 重要事項

- (1) 貸与が決定した場合は、県教育委員会が定める期日までに育英資金借用証書等の必要書類を速やかに提出すること。
この場合、育英資金借用証書には、申請者及び2人の連帯保証人の連署が必要となること。
- (2) 申請者が貸与を受けた場合に、貸与が終了した後、育英資金を返還すべき日までに返還しなかったときは、当該返還すべき日の翌日から返還の日までの日数分について、宮崎県育英資金貸与条例に定める延滞利息を支払うことになること。
- (3) 連帯保証人は、申請者が貸与を受けた返還債務の全部について、連帯して債務を負担すること。
- (4) 申請者及び連帯保証人は、育英資金の貸与又は返還のために必要があるときに宮崎県教育委員会が申請者及び連帯保証人の住所、居所、勤務先、収入等について行う調査に対し、回答する必要があること。
- (5) 前項の調査に対し、回答をしない場合は、貸与期間中に貸与を停止される場合や、直ちに返還債務の全部を一括して履行するよう請求される場合があること。
- (6) 連帯保証人の1人に対する返還債務の履行の請求及び連帯保証人の1人が行う債務の承認は、育英資金の貸与を受けた者及び他の連帯保証人に対してもその効力を生ずること。

6 貸与月額一覧表

高等学校（特別支援学校高等部、中等教育学校後期課程を含む）・専修学校高等課程・高等専門学校

貸与月額一覧

(単位:円)

	一般育英資金	へき地育英資金
国公立・自宅通学	18,000	27,000
	14,000	21,000
	9,000	14,000
国公立・自宅外通学	23,000	38,000
	18,000	29,000
	12,000	19,000
私立・自宅通学	30,000	34,000
	23,000	26,000
	15,000	17,000
私立・自宅外通学	35,000	45,000
	27,000	34,000
	18,000	23,000

大学・短大・専修学校専門課程

貸与月額一覧

(単位:円)

	大学	短期大学 専修学校専門課程
国公立・自宅通学	44,000	44,000
	33,000	33,000
	22,000	22,000
国公立・自宅外通学	50,000	50,000
	38,000	38,000
	25,000	25,000
私立・自宅通学	53,000	52,000
	40,000	39,000
	27,000	26,000
私立・自宅外通学	63,000	59,000
	48,000	45,000
	32,000	30,000

返還目安額の例（返還期間最大、返還方法月賦の場合）

高等学校（特別支援学校高等部及び中等教育学校後期課程を含む）・専修学校高等課程・高等専門学校

(単位:円)

一般育英資金	貸与月額	3年間利用時の総額	毎月の返還目安額	返還期間
国公立・自宅通学	18,000	648,000	4,500	12年
国公立・自宅外通学	23,000	828,000	5,750	(返還開始年に18歳の 場合30歳の年まで)
私立・自宅通学	30,000	1,080,000	7,500	
私立・自宅外通学	35,000	1,260,000	8,750	

大学

(単位:円)

	貸与月額	4年間利用時の総額	毎月の返還目安額	返還期間
国公立・自宅通学	44,000	2,112,000	11,000	16年
国公立・自宅外通学	50,000	2,400,000	12,500	(返還開始年に22歳の 場合38歳の年まで)
私立・自宅通学	53,000	2,544,000	13,250	
私立・自宅外通学	63,000	3,024,000	15,750	

※ 100円未満の端数は調整が入ります。

「育英資金貸与申請願」(本人記入用)

学校名 _____ (学年 : _____ 年) _____

氏 名 _____

宮崎県育英資金の申請にあたり、あなたが考えていることを記入してください。

1 あなたの勉学意欲について、自己評価してください(該当するものに○を付けてください)。

1 高い 2 やや高い 3 やや低い 4 低い

上記自己評価について説明を記入してください。

2 学校生活(学習面、部活動、その他の活動)について、どのような目標や計画を持っていますか。

3 あなたの将来について、現時点で希望している進路や目標を記入してください。

4 現時点であなたが考えている育英資金の返還計画を記入してください。

※ 募集要項5頁を参照してください。

(返還期間の予定) 令和 _____ 年 _____ 月から令和 _____ 年 _____ 月まで
(返還猶予の予定) ☐ あり ☐ なし

※ 申請書と一緒に学校へ提出してください。

(裏)

申請書類チェックシート（提出物表紙）

学校名 _____

氏名 _____

このシートを用いて提出書類が不備なく揃っているかを確認（☑を記入）し、
このシートを表紙として、記載順に書類をまとめ、学校へ提出してください。

☐ 育英資金貸与申請書

- ☐ 申請者、親権者のふりがなを記入していますか
- ☐ 「希望貸与月額」、「貸与期間」は正しく記入しましたか
- ☐ 「家族の状況」に同一生計の者を全て記入しましたか
※ 募集要項2頁参照
- ☐ 「家族の状況」の同居・別居の別、就学者の国公立・私立の別にチェックを入れましたか
- ☐ 「4 確認欄」をチェックし、制度内容を理解しましたか

☐ 育英資金貸与申請願

☐ 申請者及び申請者と生計を一つにする者全員の住民票 （マイナンバーの記載がないもの）

- ☐ 本籍・筆頭者の記載はありますか。「省略」になっていませんか

☐ 申請者と生計を一つにする者全員の直近の所得証明書

- ☐ 申請書の「家族の状況」に記入してある家族全員（就学者・未就学児を除く）の所得証明書がありますか

☐ （任意）その他家族に考慮すべき事情がある場合の証明書

※ 募集要項3頁参照

-
- ☐ 兄弟が育英資金の借受人（返還中）となっている場合、滞納はありませんか（貸与開始までに解消していただく必要があります）